

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

収益的収支に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入の予算執行状況

収入

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減	執行率 (B/A)
下水道事業収益	7,855,872	7,842,650	△ 13,222	99.8
営業収益	5,215,622	5,125,742	△ 89,880	98.3
営業外収益	2,630,519	2,700,279	69,760	102.7
特別利益	9,731	16,629	6,898	170.9

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 431,886 千円を含む。

営業収益は、下水道使用料 46 億 8,255 万 5 千円及び雨水処理負担金 3 億 3,370 万 3 千円が主なものである。営業外収益は、長期前受金戻入^(注) 21 億 8,978 万 9 千円及び他会計補助金 5 億 622 万 1 千円が主なものとなっている。

(注) 1 長期前受金：減価償却を行うべき固定資産の取得又は改良に充てるための補助金等の交付を受けた場合における、その交付を受けた金額に相当するもの

2 長期前受金戻入：償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等について負債に計上した長期前受金のうち、減価償却見合い分を収益化したもの

イ 収益的支出の予算執行状況

支出

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	不用額	執行率 (B/A)
下水道事業費用	7,422,474	6,958,797	463,677	93.8
営業費用	6,473,339	6,085,737	387,602	94.0
営業外費用	933,785	867,304	66,481	92.9
特別損失	6,107	5,756	351	94.3
予備費	9,243	0	9,243	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 172,101 千円並びに消費税及び地方消費税納付額 105,666 千円を含む。

営業費用は、減価償却費 39 億 3,295 万 1 千円や、処理場費 11 億 7,541 万 7 千円が主なものである。また、営業外費用は、企業債や借入金に係る支払利息等 7 億 6,163 万 9 千円が主なものとなっている。

(2) 資本的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

資本的収支（設備投資など、支出の効果が翌年度以降に及び、将来的な収益に対応することとなる取引などの収支）に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入の予算執行状況

収入 (単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減	執行率 (B/A)
資本的収入	13,773,854	7,708,168	△ 6,065,686	56.0
企業債	8,763,100	4,586,000	△ 4,177,100	52.3
補助金	4,140,079	2,271,860	△ 1,868,219	54.9
負担金	870,675	850,308	△ 20,367	97.7

資本的収入は、企業債 45 億 8,600 万円、補助金 22 億 7,186 万円が主なものである。

なお、企業債借入額 45 億 8,600 万円のうち、33 億 210 万円は前年度に企業債前借として借り入れたもので、本年度の企業債による収入額は 12 億 8,390 万円である。

イ 資本的支出の予算執行状況

支出 (単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	繰越額	不用額	執行率 (B/A)
資本的支出	16,534,508	8,859,384	4,055,349	3,619,775	53.6
建設改良費	12,811,159	5,146,134	4,055,349	3,609,676	40.2
企業債償還金	3,713,349	3,713,250	0	99	100.0
予備費	10,000	0	0	10,000	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 437,852 千円を含む。

資本的支出は、建設改良費のうち管渠建設費 44 億 6,062 万 4 千円及び企業債償還金 37 億 1,325 万 1 千円が主なものである。建設改良費の繰越額は、継続費を設定して実施した久留米大学雨水貯留施設築造工事を始めとする浸水対策工事を逐次繰越したことなどによる。

ウ 資本的収支の不足額

先に述べたように、本年度の企業債借入額 45 億 8,600 万円のうち、33 億 210 万円は前年度に企業債前借として借り入れたものである。

そのため、資本的収支不足額は、以下のとおり 44 億 5,331 万 6 千円となる。（補填状況については、「(3) 資本的収支不足額の補填状況」を参照）

$$\begin{array}{r} \text{資本的収入額} \\ (7,708,168 \text{ 千円} \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{3 年度に前借した企業債} \\ - 3,302,100 \text{ 千円}) \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{資本的支出額} \\ - 8,859,384 \text{ 千円} \end{array} = \Delta 4,453,316 \text{ 千円}$$

(3) 資本的収支不足額の補填状況

資本的収支不足額の補填状況は、次表のとおりである。

資本的収支不足額の補填の内訳

(単位:千円)

区 分	補填額
減債積立金	760,000
一時借入金(起債前借)	3,693,316
計	4,453,316

(備考)

- 1 減債積立金：特定の目的のため議会の議決を経て積み立てた積立金の一つで、補填財源として使用できる。
- 2 一時借入金（起債前借）：企業債の前借分。補填財源による補填の不足分をこれによって措置している。